

木曜の徒競走●桜望子

木曜の始まりはまず寝坊からラブコメみたいにくわえる食パン

金パツのあの子も寝坊をしたんでしよう駆から二人で徒競走して

三人の皇居ランナー追い越して身体の中に虎を飼つてゐる

先生と呼べば先生は振り向いてその時初めて私を見る人

発音が下手だと叱る中国の先生のちょっと変な日本語

言い返すこともできずにぱくぱくと教室の中に一匹の鯉

靖国の神池庭園へ逃げ込んで人に知られず声あげて泣く

零れ落ちる涙が餌じやないと知り泳ぎ去つてく錦鯉の背

人間が私の魅力に気付かない鳩とふたりで食べる昼食

ギンビスのたべっ子どうぶつ「HUMAN」はないと知りつつ探しつづ喰う

ばさばざとプリント配る教室で私のプリントだけ白い鳥

「虎」と書きかつては「われ」と読んでいた私はいつから人だつたろう

故郷の秋の田畠の色をして揺れる金パツ最前列に

人だから目的地がある人だから遅刻したって走つてゆける

木曜の徒競走ではいつだつてあの子に勝てないそれでも走る